

「みんなのためになるかどうか」

「未来のためになるかどうか」

**小豆澤貴洋、大津町生まれの46歳  
4人の男の子の父親です。**

今から60年前に私の祖父は会社を興しました。当時は、身内に障害のある方がいれば隠すような時代でしたが、障害のある方の自立と社会参画を自らの使命として、障害のある方も、そうでない方もともに生きる未来を目指したのです。祖父が目指した未来を、今、私は生きています。

企業経営や地域での市民活動、何よりも子育てや介護など日々の暮らしから見えてくる地域課題の解決を自らの使命として、誰一人置き去りにしない安心な出雲市、みんなに夢や希望が湧きたつ出雲市を目指して「若さと勇気と情熱」で全力を尽くします。応援をよろしくお願いします。

#### 小豆澤貴洋プロフィール

1975年出雲市大津新崎町生まれ。出雲高等学校卒業。中央大学理工学部卒業。鹿島建設株式会社に入社

2007年 出雲に帰り、家業の有限会社マルサフに入社。社会福祉法人喜和会の理事に就任。

2009年 株式会社ISMを設立し、出雲市初となる就労継続支援A型事業所を開所。

2010年 島根県「今後の特別支援教育の在り方検討会」委員

2013年 出雲市「行財政改革審議会」委員

2014年 NPO法人IZUMO自立支援センター理事就任

2015年 出雲青年会議所(JC)理事長就任  
出雲市「ひと・まち・しごと創生総合戦略推進会議」委員

2016年 出雲市 教育委員 就任  
出雲ロータリークラブ 入会

2018年 NPO法人出雲市空き家相談センター理事就任

2020年 中町商店街に「醗酵文化研究所」をオープン

## 後援会へのご入会をお願いします



小豆澤貴洋後援会  
会長 江角 彰宣

小豆澤貴洋君は、出雲市教育委員、障害者福祉、高齢者福祉、その他奉仕団体など様々なジャンルで活躍をされてきました。

今、国難ともいえる新型コロナウイルスが日本のみならず世界で蔓延し、この出雲も大きな影響を受けています。この災難の終息後、日本は大きな変革を迫られることとなります。この激しい時代の流れに柔軟に素早く対応できる人材がこの出雲において必要です。また、世界中がグローバル化する昨今、小豆澤君は海外経験も豊かで多種多様な経験を積み重ねて参りました。今の出雲にとって必要な若手のリーダーです。

今後の出雲の発展に大いに寄与するものと確信しておりますので、何卒皆様のご支援をお願い申し上げます。



お気軽にお立ち寄りください!

### 小豆澤貴洋後援会事務所

〒693-0001 出雲市今市町新町743-19

**TEL.(0853) 25-7305**

FAX. (0853) 25-7518

mail :info@azukizawa-takahiro.com

https://azukizawa-takahiro.com



若さと勇気と情熱

<https://azukizawa-takahiro.com>

後援会入会のしおり/討議資料

# ともに、新たな時代へ

未来の笑顔につながる選択を!



／ 取り組むこと ／

## ひとづくり

夢や希望にあふれる  
新たな「自分づくり」

## まちづくり

住みやすさ、生きやすさを追求し  
出雲らしさを次世代に

## 仕事づくり

地方の時代を確かなものにする  
地域産業支援



## ひとづくり

- それぞれの個性を伸ばすひとづくり
- みんなで支える子育て支援
- お年寄りの健康寿命日本一



## まちづくり

- 暮らしやすい住まいのまちづくり
- 安全と安心の備えが活きるまちづくり
- ここにしかない自然と歴史  
伝統文化を次世代へ



## 仕事づくり

- 地域に還元され、循環する観光振興
- 生産者によりそった地場産業の振興
- 地産地消をもう一歩前へ
- 大都市から出雲へ
- 企業誘致で若い世代にも  
魅力ある雇用の場を

